

あれ、ここは何をしているところなのかな

～公開！！京都市大気汚染常時監視測定局を覗いてみよう～

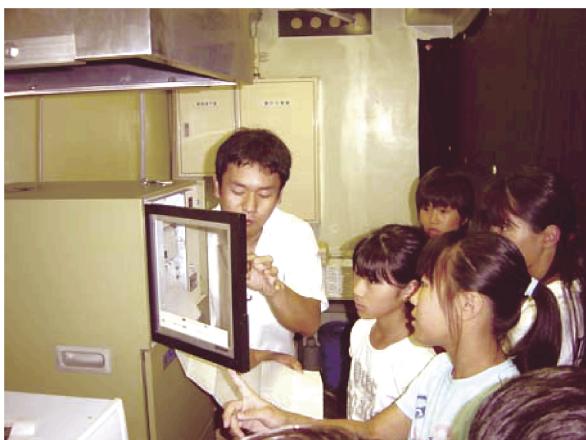
最近、地球温暖化などが話題になっていますが、みなさんは、身の回りの環境について考えたことはありますか。

今回は、私たちが住んでいる京都市の空気の汚れを24時間365日測定している測定局を紹介します。

市内には、このような測定局が19箇所あります。そのうち3箇所は、小学校の校内に設置されています。衛生公害研究所では、これらの測定局の維持管理や測定データの取りまとめを行っていますが、その測定局がどのような役割を果たしているかは、あまり知られていません。

これを受け、数年前から、より身近な環境問題に興味を持ち、学んでもらおうと、小学生を対象に毎年、出前環境教室を開いています。

その内容の一つに、測定局の見学があります。普段、人の目に触れる機会の少ない測定局の中に入り、空気の汚れを測定している機器や測定している物質の説明を聞いてもらいます。



測定している物質は、工場や自動車が主な発生源である窒素酸化物や、光化学スモッグの原因であるオキシダントなど、聞き慣れない物質ですが、生活に密着しているものも多く、測定局を身近に感じてもらえます。

見学した小学生からは、「建物があるのは知っていたが、中に何があるのか疑問に思っていた。」、「他の測定局も見てみたい。」、「今日、教えてもらったことを家族のみんなにも教えてあげたい。」などの感想を聞くことができました。

衛生公害研究所では、今後もこれらの活動を通じて、空気の汚れをはじめとする様々な環境問題に関心を持ってもらいたいと考えています。

空気の汚れを測定する機器は、当研究所にも設置していますので、興味のある方は、是非見学にお越しください。見学を希望の方は、事前に電話での予約をお願いします。

市内の各測定局のデータを詳しく知りたい人は、環境省大気汚染物質広域監視システムのホームページ「そらまめ君」(<http://soramame.taiki.go.jp/>)で閲覧することができます。